小野運送店

白岡市に物流拠点

新規顧客獲得も狙う

【東京】小野運送店（小野正彦社長、東京都品川区）は、埼玉県白岡市に物流施設を整備する。早ければ10月に着工する見通し。関東圏の拠点施設とし、既存荷主に対応するとともに、新規顧客の開拓にも力を入れる。

埼玉県が分譲する白岡西部産業団地の1区画を取得。施設は危険物倉庫、一般倉庫1棟ずつで、延べ床面積はそれぞれ990平方㍍。事務所と自家用給油施設、修理工場なども設置する予定。

土地は造成が終わり、引き渡される予定の10月にも着工する。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）・白岡菖蒲インターチェンジから2㌔の国道122号沿いで、好立地。

現在、白岡市周辺に営業所などを構えているが、いずれも賃貸。新しい施設は主要荷主にも近く、自社所有の施設を運用することで、顧客対応力を強める。資金の有効活用にもつながる。

小野社長は「関東の真ん中と立地が非常に良く、拠点施設としたい。新規荷主の獲得にも当然力を入れていく。ハードを整備することで営業マンが獲得してきた仕事に可能な限り対応していきたい」と話している。

（上田　理子）

東ト協／信用保証料助成事業

会員の経営安定に寄与

【東京】東京都トラック協会（大高一夫会長）は、会員事業者の経営安定のため、2013年度も東京信用保証協会の保証料に対する助成事業を実施する。セーフティーネット保証と東日本大震災関連保証に係る区市町村長の認定などを受けた会員が対象。

東京信用保証協会に支払った信用保証料の一部を助成する。

助成額は、1事業者当たり必要保証料の2分の1で、20万円を限度（うち2分の1は全ト協が負担）に限度額に達するまで再助成。ただし、東日本大震災関連保証の場合は、40万円が限度（同）となる。

4月1日から14年2月末までに信用保証協会が保証した日を適用期間とする。ことし1月1日から3月31日までの借り入れに対する信用保証料についても、これまで助成の交付申請をしていない場合は、助成対象となる。ただし、12年度に